

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2025年 4～6月期の景況 / 2025年 7～9月期の見通し

## 宇部市内における中小企業の業況は依然として厳しい水準にある。

### 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2025年4～6月期の実績と2025年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より0.4%の悪化となった。業種別では、卸売業は▲30.0%から▲10.0%へ、小売業は▲21.4%から▲18.8%へ、サービス業は▲20.0%から▲12.0%へと回復した。建設業は0.0%から▲20.0%へ、製造業は▲6.3%から▲18.8%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は33.6%、来期設備投資を実施予定の企業は30.9%であり、今期よりも2.7%減少する見込みである。

経営上の問題点については、全業種で8期連続で「従業員の確保難」が上位に挙げられた。さらに多くの業種で「人件費の増加」や「需要の停滞」が上位を占めている。

### DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指数を合成して算出する。

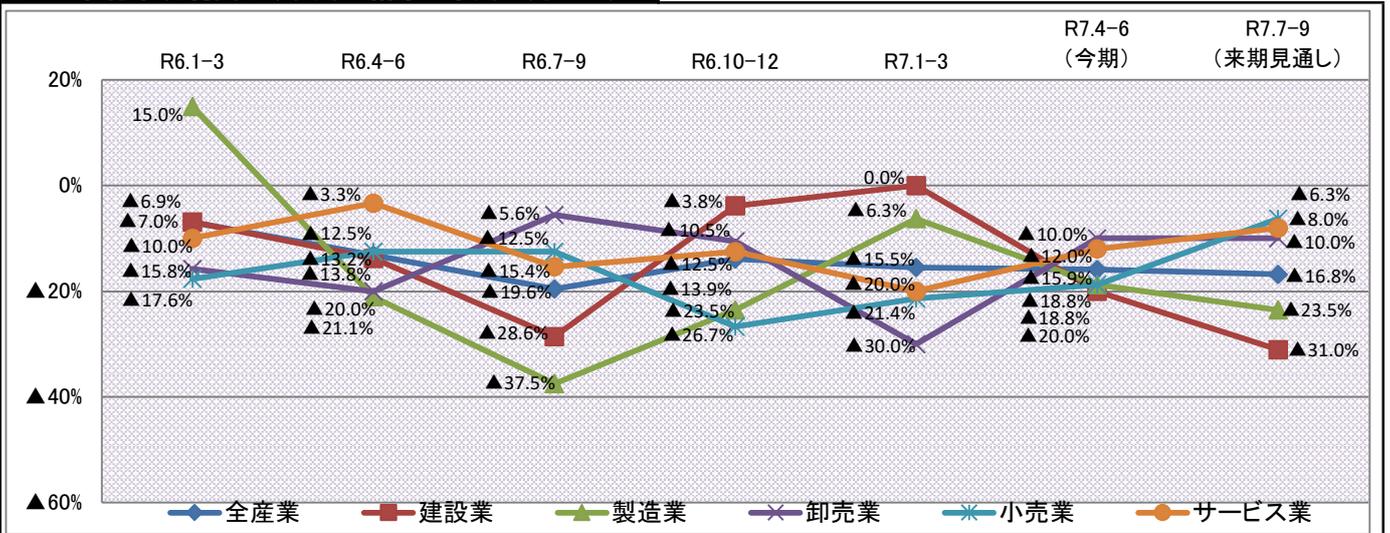
### DATA

- 調査期間: 令和7年6月9日～6月20日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業126社
- 有効回答企業数: 110社(87.3%)

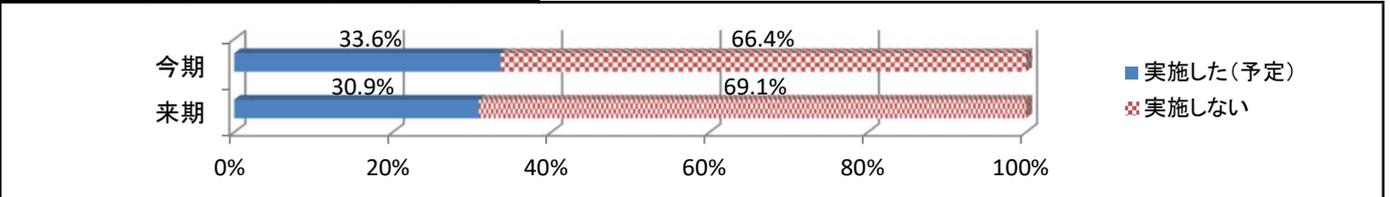
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲15.9%	▲0.4%	▲22.2%	▲10.0%	▲3.7%	0.3%	▲19.3%	▲7.0%	4.7%	8.9%
建設業	▲20.0%	▲20.0%	▲27.6%	▲23.0%	▲13.8%	▲13.8%	▲16.7%	▲12.1%	▲6.7%	▲6.7%
製造業	▲18.8%	▲12.5%	▲35.3%	▲10.3%	5.9%	5.9%	▲23.5%	▲4.8%	11.8%	36.8%
卸売業	▲10.0%	20.0%	▲30.0%	▲35.0%	5.0%	5.0%	▲15.0%	▲10.0%	5.0%	5.0%
小売業	▲18.8%	2.7%	▲11.8%	8.2%	▲12.5%	8.9%	▲29.4%	▲9.4%	▲6.7%	▲6.7%
サービス業	▲12.0%	8.0%	▲8.0%	12.0%	0.0%	4.0%	▲16.0%	0.0%	20.8%	20.8%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 22.0%	原材料価格の上昇 25.5%	従業員の確保難 18.8%	従業員の確保難 21.4%	従業員の確保難 20.7%
2位	材料価格の上昇 13.4%	生産設備の不足・老朽化 12.8%	仕入単価の上昇 16.7%	仕入単価の上昇 19.0%	利用者ニーズの変化への対応 15.5%
3位	人件費の増加 12.2%	従業員の確保難 12.8%	人件費の増加 14.6%	消費者ニーズの変化への対応 11.9%	人件費の増加 13.8%
4位	官公需要の停滞 12.2%	製品(加工)単価の低下・上昇難 8.5%	需要の停滞 12.5%	需要の停滞 11.9%	人件費以外の費用の増加 12.1%